

## 報道各社御中 ← 環境省広報室

島根県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急調査チームによる  
調査の結果について  
(H26.11.20)

島根県安来市で採取されたコハクチョウ糞便での高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出を受けて、11月15日から19日に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況や糞便採取などの調査を実施しましたので、以下のとおりその結果をお知らせします。

### 1 調査結果

11月15日～19日にかけて、島根県安来市の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内において、渡り鳥の飛来地等の計11地点において野鳥の飛来状況等を調査。また計6地点において渡り鳥の糞便を採取。野鳥の大量死などの異常は認められなかった。なお、10km圏内において、一般通報によりオオバン（リスク種2）の死亡個体1体を回収し島根県の協力を得て簡易検査を実施したところ陰性であった。採取した糞便検体及び回収されたオオバンのスワブ検体については、現在、国立環境研究所にて遺伝子検査中であり、検査結果は後日発表予定。

#### (参考)

観察された鳥類 78種  
うち、リスク種1 10種（コハクチョウ、ヒシクイ、オシドリ等）  
リスク種2 9種（マガモ、オナガガモ、ホシハジロ等）  
リスク種3 15種（カルガモ、コガモ等）  
糞便サンプル数 25検体（糞125個）

\* リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

### 2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、島根県・鳥取県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。 ([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))

平成26年11月20日(木)

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

課 長：中島 慶二 (内線6460)

企 画 官：堀内 洋 (内線6470)

室長補佐：東岡 礼治 (内線6475)

専 門 官：根上 泰子 (内線6676)

中国四国地方環境事務所野生生物課

直 通：086-223-1561

課 長：河原 武

専 門 官：深田 富士雄